

こんにちは 山田耕平 です

2015.10.29 No.212

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



阿佐谷地域で進む区立施設再編整備計画の実態とは…

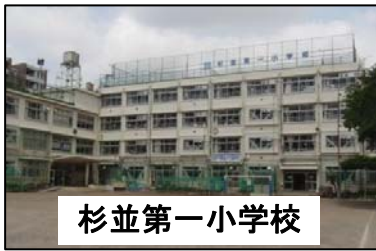
複合化による小学校の高層化と区民サービスの低下



産業商工会館



阿佐谷地域区民センター



杉並第一小学校

統廃合
複合化

統廃合
複合化

※写真は杉並区
ホームページより

阿佐谷地域のランドマークとなる魅力ある施設づくり

① セタまつりやジャズストリートをはじめとする地域イベントに活用するなど、阿佐谷のまちの魅力や文化を具現化する施設として、まちのにぎわいを創出する施設とします。

② 産業振興と地域活動の拠点としての機能を併せ持つ、これまでにない施設として、区民の多様な活動を支え、地域の力から観しまれる施設とします。

阿佐谷地域の
新たなシンボル

杉並区議会第三回定例会では、阿佐谷地域で進められる区立施設再編整備計画の重大な問題点が明らかとなりました。

小学校の高層化と施設機能の削減等 一方、阿佐谷のランドマークへ

阿佐谷地域で検討されている計画は、地域に点在する各施設を一極集中し、統廃合するものです。現在の杉一小の敷地に小学校、産業商工会館、阿佐谷地域区民センターの諸室を詰め込むことになるため、小学校の高層化が懸念されています。

また、地域に根差した施設を廃止することになり、施設利用の利便性が低下します。各施設の諸室規模が維持されるかも不透明です。

現在の阿佐谷地域の施設

■産業商工会館 阿佐谷地域区民センター

二つの施設は極めて利用率が高く、阿佐谷地域区民センターの稼働率は区内の区民センターの中で最も高い実績となっています。駅前という利便性から、幅広い区民に利用されています。

産業商工会館のホールや展示室も連日利用されており、同規模の会場を民間施設で利用した場合、大変な高額となります。

■杉並第一小学校

区内で唯一 2000 m²未満の狭い校庭であり、複合化により現状の校庭規模を維持できるのか懸念されています。

一方、新たに整備される小学校との複合施設は「阿佐谷地域のランドマーク」「阿佐谷地域の新たなシンボル」などとされ、大規模施設化・高層化の方針が示されています。

質疑では「この計画では必ずしも1+1が2になるわけではない」などと施設機能の低下の方向性も露骨に示されています。

統廃合・複合化を名目とした 施設大規模化のストッパーを

区立施設再編整備計画を進めるなかで、施設の統廃合と一体に大規模施設建設の方針が具体化され始めています。

既存施設の維持・管理ではなく、建設に重点を置く典型的な「ハコモノ行政」への移行であり、税金の無駄遣いともなりかねません。計画を白紙に戻し、住民参加のもと施設再編の在り方を再検討するべきです。

平成26年度決算から見る区民生活の実態とは？

区民生活の実態を直視しない杉並区

税と保険料の負担増の実態（決算資料より作成）

世帯	2011年度	2014年度	4年間の負担増
40歳夫婦と子ども1人 年収400万円の世帯	968,662	⇒ 1,133,599	+164,937円
40歳夫婦と子ども2人 年収400万円の世帯	915,370	⇒ 1,170,699	+255,329円
75歳夫婦 年金収入 240万円の2人世帯	351,430	⇒ 437,700	+86,270円

※40歳夫婦の「税と保険料の負担額」は所得税・住民税・国民健康保険料・年金保険料・消費税の主要5負担の合計。

消費税額は税率5%で12万円、8%で19万円と仮定。

※75歳夫婦の「税と保険料の負担額」は所得税・住民税・後期高齢者医療保険料・介護保険料・消費税の主要5負担の合計。

消費税額は税率5%で93,750円、8%で15万円と仮定。

消費税増税や保険料負担の影響は深刻
杉並区は「様々な人がいる」と軽視

当該年度は消費税が増税された年となり、昨年四月の増税から一年が経過しました。5%から一気に8%へ引き上げられた消費税は消費の冷え込みと経済の低迷を招きました。

また、歴代自民党政権のもと年金・医療・福祉など社会保障制度の改悪が繰り返されており、社会保険料の負担は年々増加しています（左表）。税と保険料の負担は区民生活に深刻な影響を与えています。

党区議団が実施した区民アンケート（2073名の回答で集約）では「暮らし向きはここ数年で苦しくなった」と回答した方は六十一%です。

その理由は三十四%が「物価の上昇」、三十一%が「税金や社会保険料の負担」、次いで二十四%が「年金収入の減少」と回答しています。

**杉並区民の生活苦軽減に
全力で取り組むべき**

杉並区は国の法改悪に対し、意見をあげることにも拒絶し、悪政を容認しています。区民の現状を「様々な人がいる」とし、社会保障改悪を推進する姿勢を示していることは重大な問題です。区民の現状を正確に把握し、的確な対策を講じることが必要です。

障害者「移動支援」の拡充を！

～緊急ワークショップ開催～

杉並区内の障害者作業所や障害者団体が共同し、障害者等の「移動支援」について、緊急ワークショップが開催されました。

障害者が“当たり前前に地域で暮らしていく”ために地域生活支援事業が実施されており、特に「移動支援」は地域生活に欠かすことの出来ないものです。

地域生活支援事業は自治体の裁量が広く認められており、地域のニーズや利用者の状況に応じて、実施主体である各自治体が柔軟に事業を実施することが必要とされています。しかし、杉並区では利用者の意向に沿った柔軟な対応が行なわれておらず、現場では様々な問題が発生しています。障害者本人の利用意向に基づき適切な対応が行なわれるよう、強く求めます。

移動支援事業の実態

申請者数	利用者数	内、柔軟運用者数
1027人	799人	172人

柔軟運用は極めて少数となっており、利用者の意向に沿った運用が行なわれていない。

育メン日誌

今度はハクビシン！？

我が家では、本当に様々な生き物と遭遇します。今度は「ハクビシン」と出会いました。ある日の夜、2階のベランダで洗濯物を取り込んでいると、近くにいた娘が頭上を見上げ「コワイ、コワイ」と騒ぎます。何かと思い見上げると…なんと、そこには大きな猫のような生き物が！？尻尾でバランスをとり、電線を器用に渡っているではありませんか！

最近、巷で有名な「ハクビシン」です。



悠々と歩いていました。

阿佐谷近辺でも出没するらしいですが、善福寺でも発見です。この後、電柱のトランスの上で一休みし、民家の屋根に消えていきました。